

第13回オーライ！ニッポン大賞受賞者の概要

No.	都道府県 市町村	地区名	概 要	
オーライ！ニッポン大賞グランプリ				
1	島根県 浜田市	ゆめ ねむら 夢の音村「森の公民館」(サ ゆめ ねかい ウンドファイブ夢の音会)	<p>これまでに150回を超える自らのステージ活動や40回近いコンサート企画活動(音楽や演劇など優れた舞台文化の招致)など、昭和43年から始まった47年間の音楽・文化活動は、住民からの理解や認知を受けて町の「顔」として定着。招いた著名人に夢の音村「名誉村民」の称号を贈り、手づくりの林間交流拠点を中心に市民との交流企画を実行。</p>	
オーライ！ニッポン大賞				
2	秋田県 仙北市	せんぼくし 仙北市農山村体験推進協 議会	<p>農家民宿泊などの農山村体験を通じた都市部との交流人口の増加による地域活性化を目指し、平成20年に協議会を設立。観光協会や農協、行政機関など業種の枠を越え地域が連携し受け入れを実施。外国人旅行者の受入増加も含め着実な実績をあげており、東北屈指のグリーン・ツーリズム先進地に成長。</p>	
3	東京都 国立市	株式会社エマリコにたち	<p>平成23年に、民設民営の都市型直売所を開設。車での農産物集荷・買取により、都市部の高齢農業者等の利便性を高めつつ、貴重な販路ともなっている。また、駅前など利便性の高い場所に出店することで、月延べ1万人の東京の市民に新鮮な地場野菜の魅力を知ってもらう機会を提供。</p>	
4	静岡県 浜松市	NPO法人夢未来くんま	<p>手打ちそばを中心とした郷土色豊かな食事を提供する「かあさんの店」と「くま水車の里」や物産館「ぶらっと」での地場農産物の加工・販売、体験実習、イベント出店などを展開。また、デイサービスとお弁当を届ける高齢者へのサービスや、当地域に移住する人向けの「お試し住宅」や農家民宿を開設するなど、新しい取組を推進するなかで地域住民の生きがいと郷土意識を醸成。</p>	
オーライ！ニッポン大賞 審査委員長賞				
5	青森県 八戸市	あおぼこ 八戸市青葉湖展望交流施設 がっこう 山の楽校運営協議会	<p>平成15年に地区の小中学校が廃校となったことを逆手に全戸(65戸)参加の協議会を設立。古い校舎を活用しながら、地元の財産(人・物)を活かし、年間60講座と7つの大きなイベントを企画。地域はもとより、県外からも親しまれる施設となっている。</p>	
6	千葉県 成田市	島田建設株式会社	<p>建設業者として、もっと社会の役に立つことはできないかと考え、平成12年に介護ショップ、平成14年に園芸デイサービスをオープン。平成16年に千葉大学と園芸療法の共同研究を始め、取組を継続するためにNPO法人園芸療法勉強会を立ち上げ、デイサービス施設と園芸療法を組み合わせた事業を展開し、福祉・農業振興に取り組む。</p>	
7	石川県 白山市	きなめり 木滑里山保全プロジェクト	<p>平成21年、白山市木滑地区が石川県の先駆的里山地区に認定されたことを契機に、里山の生活、文化を広く認知してもらうべく活動を開始。地元の交流イベントである「里山祭・山笑い」を開催し、都市住民に里山の生活、文化、歴史を知る機会を提供。</p>	
8	兵庫県 神河町	かみかわ田舎暮らし推進協 会	<p>平成22年、町が実施する「空家バンク」の側方支援組織として、関係する不動産業者、建築業者、都市農村交流団体、地域住民代表など人的資源を結集し、役割分担しながら、都市住民の移住を進める総合的な体制づくりとして設立。兵庫県下トップクラスの空家バンク成約数、移住実績を誇る。</p>	
9	奈良県 三郷町	(株)農業公園 しぎさん 信貴山のどか 村	<p>地域の農業を守るため、昭和62年に「観光と農業」を結び付ける農業公園を開設。公園内で野菜・果樹を生産し、お客様に「味覚狩り」として提供。また、こんにやく教室・そば打ち教室・ソーセージ教室を開講するなどの取組により、農村と都市の交流を図り農業の魅力伝える。</p>	

No.	都道府県 市町村	地区名	概 要	
オーライ！ニッポン フレンドシップ大賞				
10	宮城県 石巻市	公益社団法人 すいーととリーと sweet treat 311	東日本大震災で被災したこどものケアと学習の機会を設けるために設立。石巻市雄勝町を拠点に、森や海など地域資源を活用した学びの場を創造し、漁師や地域の方々と協働で運営。全国だけでなく世界から人が訪れており交流人口増にも寄与。築93年の廃校を活用し平成27年夏にオープンした子供たちの複合施設モリウミアス(森と海と明日へ)では雇用も創出。	
オーライ！ニッポン フレンドシップ賞				
11	広島県 庄原市	しょうばらし たかの 庄 原 市 高野地域づくり未 らいじゆく 来塾	道の駅を玄関口として、高野地域を回遊してもらう仕組みや、道の駅の地域連携機能を有効に発揮し、農家や加工業者の所得向上につなげるため、未来塾が中心となって着地型観光の推進と特産品開発を実施。地域資源を活かした各種イベントの開催や農村民泊による教育旅行の誘致を推進。	
12	岡山県 倉敷市	倉敷まちなか居住『くるま座』 ゆうりんあん 有 鄰 庵	「地域の魅力を発信」「経済の豊かさを超える、心の豊かさの追求」「伝統文化を活かし未来につなげる」をコンセプトに、世界のモデルになる心豊かなライフスタイルを追求。また、運営するゲストハウスやカフェは年間52ヶ国5万人の方に利用され、地方の魅力を世界に伝えている。	
13	熊本県 阿蘇市	公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセン ター	「阿蘇自然案内人」による地域の自然・歴史・文化の紹介、農家民泊や農家レストラン、農業体験などを通じた地元住民との交流、商店街や温泉街などでの、食べ歩きや散策を楽しんだりするプログラムの提供など、地域の生業や日常生活と結びつけた活動を展開。「エコ・ツーリズム」、「グリーン・ツーリズム」、「タウン・ツーリズム」の3つの地域ツーリズム等をベースに滞在交流型観光地を創出。	
オーライ！ニッポン ライフスタイル賞				
14	千葉県 木更津市	やまの てるひろ 山 野 晃 弘	妻の妊娠・出産を機に食の安全性に強い関心を抱き、自ら無農薬で米作りをするため木更津に移住し、TVディレクターとの二足のわらじを履く生活を開始。竹や廃材の活用など環境に配慮したライフスタイルを実践しながら、農作業を手伝う代わりに、宿泊場所・食事を提供するWWOOF制度を利用した国際交流を進める。また、きさらづアグリフーズ推進協議会を設立し、木更津農産物の高付加価値化を推進。	
15	東京都 世田谷区	ば ば み おり 馬 場 未 織	平日は東京、週末は千葉県南房総市の里山で暮らすという2地域居住を実践。週末田舎暮らしをしながら、仲間達とNPO法人南房総リパブリックを設立し、理事長として里山で自然体験をする「里山学校」、東京に野菜の美味しさを届ける「洗足カフェ」、里山環境でヒト・コト・モノをつなげる拠点「三芳つくるハウス」の運営、市内の空家調査等の事業を推進。	
16	福井県 福井市	い とう ひろあき 伊 藤 弘 晃	子ども向け自然体験活動の企画・運営、県が進めるふくいエコ・グリーンツーリズム、上味見のお祭りなどの応援を行う「ふるさとワークステイ」活動など都市農村交流を実践。平成23年に上味見を第2のふるさとと感じる地域外の若者たちと「上味見青年団」を設立。団長として若者の都市農村交流の橋渡し、調整役を行い上味見地域の地域づくりを推進。	